

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		2011年 7月 22日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府宮津市宇惣262番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） グンゼ欄宮津工場 工場長 泰永 一利
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	グンゼ欄宮津工場	
導入年月日	2001年 07月 06日	
認証番号	JQA-EM1658	
基本方針	<p>(1) 地球温暖化防止のため、製造設備等のエネルギーの使用効率を向上させ、省エネルギーを推進します。</p> <p>(2) 資源の有効活用を図るため、繊維屑などの廃棄物発生の低減と、発生した廃棄物の再使用・再資源化を推進します。</p> <p>(3) 物流に関わる搬送・資材のロス削減に取り組みます。</p> <p>(4) 天橋立周辺環境を守ると共に、廃水処理管理の充実を図ります。</p> <p>(5) 教育及び地域とのコミュニケーション活動を通じて構成員の環境意識向上と環境保全活動に取り組みます。</p>	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>(1) CO2排出量を7,469.8(t-CO2)以下にする（09年度BM対113.9%） 改善量：原油換算71kl以上（09年度BM対2.4%）</p> <p>(2) 廃棄物排出量を479,923 kg以下にする（09年度BM対102%以下） 改善量：14,060kg以上（09年度BM対3%）</p> <p>(3) 間接影響評価で総合ポイント659を達成する。</p> <p>(4) 廃水処理充実で着色度30以下を維持する</p> <p>(5) 環境にやさしい商品を4件開発する（6）人材育成研修を71人実施する</p> <p>(7) 社会貢献活動を61回実施する</p> <p>(8) 物流に係わるエネルギーを5,34kl削減する</p>	
目標を達成するための取組の内容	<p>省エネルギー（CO2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱交換器効率化による省エネ・軟化器逆洗水配管変更による省エネ</li> <li>・乾燥ドレン回収軟水注入自動化・照明のLED化・染工冷水ポンプ送水配管圧損低減</li> <li>・乾燥ドレン回収軟水注入自動化 など省エネ計画合計35件</li> </ul> <p>廃棄物低減活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維屑の低減活動・糸管有価物処理（リサイクル化）・薬品缶の通りドラム化</li> <li>・汚泥脱水機処理速度適正化による脱水率向上・CAM型入れ歩留まり改善</li> <li>・ダンボール箱の削減（再利用） など計画合計21件</li> </ul>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>省エネルギー（CO2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱交換器効率化による省エネ・軟化器逆洗水配管変更による省エネ</li> <li>・乾燥ドレン回収軟水注入自動化・照明のLED化・染工冷水ポンプ送水配管圧損低減</li> <li>・乾燥ドレン回収軟水注入自動化 など合計35件実施済み</li> </ul> <p>廃棄物低減活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維屑の低減活動・糸管有価物処理（リサイクル化）・薬品缶の通りドラム化</li> <li>・汚泥脱水機処理速度適正化による脱水率向上・CAM型入れ歩留まり改善</li> <li>・ダンボール箱の削減（再利用） など合計21件実施済み</li> </ul>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通りに取組が出来ている。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	<p>関連法規の遵守状況について毎月確認を行っている。</p> <p>これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。</p>	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>評価・見直しについては、年に一度評価及び見直しを実施。</p> <p>平成21年度は、現行の目標及び取り組み内容により一定の成果が見られたことから、22年度も同一システムにより運用した。</p>	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。